

平成 30 年度事業計画書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人函館市体育協会

《事業実施の方針》

目的：函館市のスポーツ団体を統括し、市内及び近郊住民のスポーツ振興とスポーツ精神の涵養を図り、以て心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

1 事業運営の基本的考え方 - 『高めよう、スポーツの価値！』

①公共性・公益性ある スポーツ振興

スポーツを楽しむことにより、市民が健康で豊かな生活を送り、地域の活性化と発展に寄与する事業運営を行います。

②市内のスポーツ団体を 統括

加盟団体の強化発展を図ると共に、各種スポーツ団体等と連携し、融和、大会開催支援に関する事業運営を行います。

③函館市及び近郊市町の スポーツに関する情報 収集や調査研究

函館市スポーツ振興計画の実現に協力すると共に市民の意見を取り入れた施策の建議助言を行います。

2 事業の概要

スポーツ振興事業

青函対抗事業
渡島スポーツRF支援事業
市民スポーツ普及推進事業
市民健康づくり事業
特別支援事業
特別研修事業

強化育成事業

選手強化事業
指導者研修事業

大会開催 派遣支援事業

大会開催事業
国体派遣事業

調査研究等事業

懇談会・委員会
活動事業
広報紙発行事業

スポーツ関係 者等表彰事業

表彰式及び
受賞祝賀会開催

3 事業収入 - 事業の安定した実施

会費・入会金収入	正会員年会費、役員分担金
寄付金・協賛金	運営資金・スポーツ振興基金
事業収入	収益事業
補助金収入（函館市）	体育協会運営事業等補助金
	青函対抗補助金、 国体派遣補助金

《事業実施の方針》

当協会が平成 22 年度に特定非営利活動法人になったのを機に策定いたしました定款の目的に「この法人は、函館市のスポーツ団体を統括し、市内及び近郊住民のスポーツ振興とスポーツ精神の涵養を図り、以て心身の健全な発達に寄与する」と謳われております。

「スポーツ王国の実現を目指す」という高い理念を掲げている日本体育協会は、4月1日に「日本スポーツ協会」に名称が変わりました。それに先立って策定した「スポーツ推進方策 2018」の中で生涯に亘ってスポーツを楽しんでもらうため「誰もがスポーツ文化を豊かに享受できる環境の創出」「スポーツ享受の多様化」「スポーツを核とした連携・協働の促進」の三つを目指すものと定めています。

本会では、この方策を意識し関係機関・加盟団体と連携・協力して各種事業に鋭意取り組んでいきたいと考えております。

事業運営の基本的考え方として、「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大に向けて、「高めよう、スポーツの価値！」という方針を継続して新体制に代わる今年度も取り組んでいきたいと考えております。

スポーツ振興事業など各種事業の推進にあたっては、函館市スポーツ振興計画に沿った、①公共性・公益性のあるスポーツ振興、②市内スポーツ団体の強化発展へ向けた事業の充実、③スポーツに関する情報収集や調査研究を柱として当協会内に設置した各種委員会を中心に事業を企画・立案し、加盟団体をはじめとする関係団体などの協力・連携を図って実施して参ります。

また、近年の情報高度化、少子高齢化などの進展による社会情勢や地域景況の動向に対応し、スポーツの現場における暴力行為などの問題、広報活動、ホームページの内容充実に継続して取り組んでまいります。

さらに、「スポーツと健康づくりを通じて、からだと心を鍛え、活力あふれるまちづくりを目指す」と宣言しておりますスポーツ健康都市函館の一翼を担う為、函館市や関係機関が設置する委員会などに所属して加盟団体・関係機関などとの連携によるシナジーを追求し、意見の具申などを積極的、効果的に行って参ります。

一方、これら諸事業の一層の充実と発展を図るためには、安定した財政基盤の確立に努めていく必要があります。しかしながら、現在の地域経済情勢と相まって当協会の財源基盤は、函館市からの補助金が殆どで、これ以外の財源確保は厳しい状況下にあると言わざるを得ません。

「少しでも自分たちの足で立ってやれる」ようになる為には当協会では地元経済界などに対し、実施する諸事業の重要性の理解を得るための働き掛けを行いながら、実施諸事業の見直し、経費節約など有効適切な事業の執行に努めることはもとより、協賛金・寄付金など自主財源確保のため皆様の御理解と御協力を得て加盟団体と函館市体育協会が一丸となって取り組んでいく必要があります。

今、まさに当協会を取巻く外部環境は、日々変化しております。言い換えれば限られた時間の中で自らイノベーションを起こし、過去の延長線上から脱し、スポーツを通して地域発展の一翼を担える体育協会を作り上げていく挑戦の年が続いていくと考えており、良いレガシーを遺していくよう皆様方の御支援を得ながら果敢に取り組んで参ります。